別　紙

# 延岡市業務継続計画及び延岡市受援計画修正支援業務委託公募型プロポーザル審査基準

| 審査項目 | | 審査内容 | | | 配点 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 業務理解・基本方針 | 本業務の目的及び背景を十分に理解し、本市の地域特性及び被害想定を踏まえ、業務継続体制及び受援体制の実効性向上につながる基本的な考え方が示されている提案となっているか。 | | | 5点 |
| 2 | 課題（弱部）整理の考え方 | 令和８年３月の県被害想定見直しや近年の大規模災害の教訓を踏まえ、本市の定量的な弱部（人員不足や施設使用不可等）を的確に抽出・分析できる提案となっているか。 | | | 5点 |
| 3 | 庁内理解浸透 | 業務継続及び受援の考え方について職員の理解を促し、各課が主体的に災害時の業務整理や検討を進められるような取組が提案されているか。 | | | 15点 |
| 4 | 業務継続計画（ＢＣＰ）検討手法 | 災害対応業務の増大及び人的資源の不足を踏まえ、継続すべき業務及び停止・縮小する業務の整理など、実効性のある業務継続体制を検討できる提案となっているか。 | | | 10点 |
| 5 | 受援計画検討手法 | 応援要請、受入れ、配置、業務引継ぎ等の一連の流れを踏まえ、本市の地域特性を考慮した実効性のある受援体制を検討できる提案となっているか。 | | | 10点 |
| 6 | 継続的改善の仕組み | 図上訓練等による検証を通じて、業務継続計画（ＢＣＰ）及び受援計画を継続的に見直し、改善していく仕組みを構築できる提案となっているか。 | | | 15点 |
| 7 | 庁内調整・負担軽減への配慮 | 各課への各種調査等において、各課の通常業務への影響に配慮した手法・様式の工夫が提案されているか。 | | | 5点 |
| 8 | 業務実施体制及びスケジュール | 本業務を適切に遂行できる十分な人員配置、組織体制、支援体制等が整っているか。各工程ごとに妥当な時間配分がなされ、業務完了に至るまでの過程が明確に説明されているか。 | | | 5点 |
| 9 | 自由提案 | 仕様書にない提案者のノウハウ、知識等を生かした創意工夫のある提案がなされているか。 | | | 10点 |
| 小計 | | | | | 80点 |
| 10 | 価格点 | （提案見積価格のうち最低価格/貴社の提案見積価格）×配点（10点） | | | 10点 |
| 11 | 業務実績 | 業務責任者が、業務継続計画又は受援計画の策定・改定に係る業務経験等があるか。 | 業務の実績が３事業ある。 | 10点 | 10点 |
| | | | 業務の実績が２事業ある。 | 7点 | |
| | | | 業務の実績が１事業ある。 | 5点 | |
| | | | 業務の実績がない。 | 0点 | |
| 小計 | | | | | 20点 |
| 合計 | | | | | 100点 |

上記１から９の配点基準は、次のとおりである。

| ５段階 | 配点 | | |
|---|---|---|---|
| 優れている | 15 点 | 10 点 | 5 点 |
| やや優れている | 12 点 | 8 点 | 4 点 |
| 標準 | 9 点 | 6 点 | 3 点 |
| やや劣っている | 6 点 | 4 点 | 2 点 |
| 劣っている | 3 点 | 2 点 | 1 点 |